

市長と語る タウンミーティング

テーマ「選ばれるまち、住みやすいまちにするアクションは、今がその時!!」

日時 平成25年7月20日(日) 午後1時30分～3時5分

会場 コスモスホール

天気 晴れ

参加者 78人

主な意見等 (◆・・・参加者 ☆・・・市長)

- ◆自分の身の始末、納骨の希望があったとしても、年をとると自分では判断が難しくなってくる。子供が近くにいない場合や相談できる身内がない場合もある。できれば国と市町村と外郭団体と保険なんかを組み合わせで対応していただける方法はないか。
- ☆お一人暮らしで身寄りがお近くにいない場合、お身内を探して連絡をとってお願いをするというのが通常だが、全く連絡がとれない場合は行旅死亡人として葬らせていただくことになる。今後核家族化も進んでいることから、行政サービスの一環としてご本人の意向にできるだけ添えるような形でご提案いただいたような方法が可能かどうかも含め、検討していきたい。
- ◆埼玉県下で住みよいまちランキング1位というのはピンとこない。物価が安いとか交通の便がよいとかもっと細分化されたものでランキングをした場合は違う答えになったかもしれないが、今後も引き続き頑張りたい。上福岡駅東口が暫定的に整備されたということだが最終的にどのような構想なのか、またいつ頃までに完成させる予定なのか。
- ☆駅に向かって右側が整備されたが、もう少し車道を広くとってもらいたかったとか希望はいろいろあると思う。しかし、暫定整備とはいえ、警察協議があり、この中で現状駐車車両が増加している関係から事故防止のため、車道は最小限にしてもらいたいとのことで今の形になった。一方、駅に向かって左側は昭和30年代に都市計画決定されたエリアで、そちらの整備をして全てが終了するわけだが、地権者の方や営業権のある方とひとつひとつ交渉を進めていかなければならない。これに当たって30年代に線引きをしたエリアのみならず、周辺も今後変わっていくだろうということから踏切に向かって東武鉄道の敷地も含め、一定程度再開発をしていった方がいいかどうか今年調査をかけている。駅の近くで営業をされている方が営業権を手放して他に移ってということになれば当然利害関係が発生してくるので、早期に進められるのであれば、同等とは言わないが一定程度の利益を保証していくといったことも必要かもしれない。用地交渉のうえでは基準も決まってお金銭では解決できないが、駅舎を含めた開発をかけた方がいいのか、都市計画決定されたエリアの中だけで整備した方が

いいのか、実は私も国土交通省にも直接出向いて要望をしている。昔は補助を受けられなかったが、今は国も地方も財政が厳しいことから身の丈再生とって、小規模の再開発事業でも国から一定の支援を受けることができるということを聞いた。そういう制度を利用して、経費を抑えながら時間的にも早期に進められる、また地権者の方の理解を得られる方法がベストだということで、まず調査から入っている。

◆福岡高校の跡地の活用について聞きたい。誘致するときにも市も協力したと聞いているが市に払い下げしてもらえるのか。また、それが可能だとして買い取る場合の金額、買い取り後、維持管理の金額を教えてください。

☆福岡高校がつけられた当時は、2市2町に県立高校がなかったことから地域の方々の思いを受け、誘致をした。下福岡地域の地権者の方々のご協力を得ながら、今のお話にもあったように2市2町で負担金も出して設置をした。現在は子供の数が減って埼玉県の県立高校の再編計画により、統廃合が進められ、ふじみ野市の場合は合併したことから市内に大井高校と福岡高校、2校県立高校があるということで1校にまとめられた。市としてもスポーツ施設が不足していたり、現状新たな施設を建設するのも難しいことからぜひ跡地を活用したいということを埼玉県に要望している。県の方でも地元で活用していいとの話だが、移管は難しいため、買い取りは10～20億円の費用が見込まれる。維持費用は、現在学校としては機能していないが、グラウンドや体育館の開放は行ってそういった経費を含め、当時は年間3,000万円くらい。先日、未来政策会議という事業を実施し、市民の方にも入っていただきいろいろなご提案をいただいたり、市のプロジェクト・チームでもどのような活用をしていったらいいか検討を行っている。グラウンドや体育館はもちろんだが、校舎については、認可保育所や障がい者の施設、ダンスができるフロアなどかどうか。市民の方からは奇抜なアイデアがたくさん出た。ゴルフ場をつくってプロゴルファーを養成するとか、民間に使ってもらって収益を上げながら維持してはどうかなど様々な発想が出た。現実問題としては、都市計画法や開発上の制約があるが、制約どおりにしては使えないものになってしまうため、特区制度を活用するなど様々な形で国にも働きかけ、最小限のコストで有効活用が図られるような方法を考えていきたい。また買い取り金額についても、できるだけ抑えられるよう県と交渉し、何とか早期に使いたいと考えている。

◆ぜひ頑張って交渉していただきたい。今は軽スポーツをするにも土日に小中学校のグラウンドくらいしかないので、平日にも使えるよう福岡高校の跡地や大井清掃センター跡地の多目的グラウンドに期待している。そうすれば元気な高齢者が増えて医療費の削減にもつながると思う。

◆イベントには市民の方がどんどん参加してほしいと思うが、子供がいると長時間は参加できない。それで遠慮してしまう人もいると思う。昨年総合防災訓練も私自身参加してよかったと思っているが、やはり5時間近くあると、子供が途中でぐずったり

する。例えばバケツリレーなどゲーム的なことを取り入れたり、地域の人たちがあれだけ集まることもそうそうないので子供が楽しめる企画があるといいと思う。また待機児童ゼロの話になるが、どこの市町村も頑張っていると思うが、なかなか進んでいない。1,000人でも2,000人でも待機児童を受け入れる体制を先につくってしまって、それをセールスポイントにしてはどうか。

☆今回の総合防災訓練では町会ごとに独自のイベント、訓練を入れてほしいということをお願いしているが、子供たちも楽しめるものもあるといいと思うので検討させていただきたい。また待機児童対策のご提案の件だが、おっしゃるとおりだと思う。私自身実は公立保育所から民間の認可保育所に移していこうと考えていたが、現在はどんどん人数が増えている状況のため、公立保育所は維持しながら認可保育所を増やしていきたいと考えている。併せて福岡高校の跡地活用として、複合施設はなかなか許可がおりないと言われているが、待機児童対策が国の問題であるなら、国にも働きかけていきたいと思っている。

◆何年か前には、日本で1番住みにくいまちは上福岡だったかと思うが、急に1位になったというのはあまりにも開きがあり、違和感がある。基準が全く違うのか。上福岡駅東口が整備されたが車優先で人が歩きづらい。また毎日東上線の踏み切りを渡っているが、なかなか開かない。それから市営のバスに乗っている人がいない。PRが足らないのか分からないがみんなが利用できるようにしてほしい。

☆様々な尺度があると思うので、ワースト1になった調査も今やれば改善しているのではないかと思っている。上福岡駅東口が車優先になって歩きづらいというお話だが、横切ってはいけない、遠回りになってしまったということかと思う。決して車優先ということではなく、歩行者の安全確保のため、遠回りと思わないでぜひご理解いただきたい。また、タイヤが増えたことにより、踏切が開かずの踏切状態になっていることは実態かと思う。もう20年、30年前に橋をかけてはどうかとか、最近では地下道をつくってはどうかとか色々な話があった。地下道については、国から事業認可を受けていたが、結局着手できずに時間切れになった。私が就任してから中止せざるを得なかったのだが、まち全体を考えると、あの分岐線路を越えるということが、本当に今ある商店街を壊して地下道をつくっていいのかなど様々な課題があり、現状は難しい。体の悪い方については、駅にはエレベーターがあるので、安全のため、遠回りにはなるがそちらを使っただければと思う。また市内循環バスだが、合併以前は旧大井町で動いていたバス。現在は2台を街中にくまなくまわすルートをとっており、非常に不便で賛否両論あり、ご指摘のように乗っている人がいない。65歳以上の方と障がい者の方は無料だが、それにも増して乗っている人が少なく、年間3,000万かかっている。やめた方がいいという議論もあるが、何かサービスをやめるというのはなかなか難しい。代替案をつくっていかねばならない。市全体を考えた場合に駅から遠い人も近い人も平等でなければならないが、その人たちのためだけに税金を使

っていいかという議論もある。今の市内循環バスは、正直言って私も効果がないと思っているが、今市では見直しを行っているところ。例えばデマンド交通など民間に参入してもらってそれに対して市から補助金を出すとか色々な提案があるかと思うが、それにより利便性が増すのであれば市にとってプラスになる。高齢者が増えていく中で社会的に移動手段のなくなったという方に対してはトータルで考えて判断していくべきなのでもう少し時間をいただきたい。むしろいい方法があるのであれば皆さんに利用料を負担していただいて台数を増やしてサービスを向上する方法もあると思う。

◆実際にあったことだが、東上線の踏切で自転車の方が遮断機に挟まれて、踏切内で右往左往していた。私は車に乗っていて、とっさに一緒に乗っていた家内に伝えて遮断機を上げて助けたことがあった。どうしてそういうことになったのか分からないがひやとした場面を実際に見たので事故につながらなければいいと思うのだが。

☆同様のお話は他の方からもいただいている。高齢者の方が遮断機に挟まったり、逆に入った後に出る方の遮断機が閉まってしまったり、もう少し時間があればというお話をいただくこともある。車の場合は入る方が先に閉まって出る方が後だが、歩行者の場合は逆から入る場合もあるので、お願いしたところ、鉄道会社も時間差には苦慮しているとのことだった。安全確保のため改善してほしい点ではある。ご指摘の件は私も同感。